

単元名 『米づくりのさかんな地域—山形県庄内平野—』（第5学年） 全9時間計画

単元のねらい

米づくりに関わる資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりすることを通して、米づくりに携わる人々が、自然環境を生かしながら様々な工夫や努力をしていることを理解できるようにする。

単元構想の意図

本単元では、児童が米づくりについて高い関心を持ち、米づくり農家の工夫や努力について理解するために、問題解決的な単元構想を行いました。「つかむ」過程では、山形県の米の生産量についての資料を提示し、疑問や調べたいことを話し合い、「単元の課題」を立てさせます。「追究する」過程では、資料を基に、米づくりに携わる人々の工夫や努力を理解させます。「まとめる」過程では、「単元の課題」に対する結論をまとめさせます。児童が単元全体の見通しをもって取り組み、学習内容を確実に理解できるように構成しました。

過程

主な学習活動

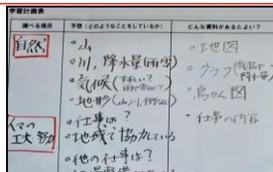
1. 「単元の課題」を把握する

- 山形県の米の生産量に関する資料を基に、疑問や調べたいことを話し合い、「単元の課題」を立てる。

庄内平野では、なぜ米がたくさんつくられているのだろう。

- 「単元の課題」について予想をし、追究内容や方法を話し合い、学習計画を立てる。

【学習計画表を教室に掲示】



「単元の課題」を設定

社会的な事象についての資料を提示して、「なぜ?」「どうして?」「調べたい!」という課題意識をもたせる。それを基に、児童に疑問や調べたいことを考えるよう促し、児童から出された意見をまとめ、本単元を通して調べる「単元の課題」を立てさせる。

学びの見通しをもたせる

「単元の課題」の答えを予想し合い、調べる内容や方法を考えさせ、学習計画を立てる。次時以降、単元全体の見通しをもって課題に取り組めるように、学習計画表を教室に掲示しておく。

問題解決的な授業の流れ

- ①資料や学習計画表などから、児童の言葉を基に本時のめあてを設定する。
- ②教科書などを手掛かりに、個別に具体的な事実を調べさせる。
- ③それらの共通点、意味、目的などを集団で話し合い、本時のねらいに迫るキーワードを児童から引き出す。
- ④児童から出されたキーワードを基に、本時のまとめを板書する。
- ⑤本時を振り返り、学びが自覚できるようにする。

調べたことを共有・補完、深めるために

調べたことを共有したり、補完したりできるようにするために、ペア、グループなどの学習形態を工夫する。話し合いの際には、児童が見通しをもって話し合えるようにするために、目的や視点、進め方を明確にする。

ICTの活用

テレビ、パソコン、実物投影機、タブレットなどのICTを活用して、資料や児童のワークシートを提示する。また、DVDやインターネット上で公開されている映像資料を視聴させることも効果的である。

構造的な板書

「めあて」から「まとめ」まで、授業の流れや児童の思考が見えるような板書にする。児童が調べた事実だけでなく、それらを比較・関連付けたり、分類したりする活動を通して共通点やキーワードを考えさせ、児童の言葉を基にまとめる。

「単元の課題」に対する結論をまとめさせる

単元全体を通して学習してきたことを基に、「単元の課題」に対する結論を導けるような活動を設定する。
 (活動例) キャッチコピー、ポスター、地図、新聞、関係図、ガイドブック、4コマまんが、年表など
 ※「単元の課題」に対する結論を導くための適切な手立てとなるよう留意する。

つかむ(2)

2. 「単元の課題」の解決に向け、単位時間ごとに追究する

- 庄内平野の自然条件を調べる。
- 米づくり農家の1年の仕事を調べる。
- 農家同士の協力について調べる。
- J Aや水産農業試験場の人々の仕事について調べる。
- 収穫された米が消費者に届くまでの過程を調べる。
- 農家の人々が抱える問題について調べる。



【グループでの話し合い】



【ICTの活用】

【構造的な板書の例】

3. 「単元の課題」についてまとめる

- 「単元の課題」に対する結論をまとめ、単元全体の振り返りをする。

庄内平野で米づくりがさかんなのは、米づくりにかかわる人々が、自然条件を生かし、地域で協力したり、よりよい米づくりの仕方を研究したりして、様々な工夫や努力をしているからです。

追究する(6)

まとめる(1)

指導例：『米づくりのさかんな地域』（第5学年 第1時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

○米の生産量上位5県と群馬県の生産量を示す統計資料、主な米の生産量の10aあたりの収穫量を示す資料を読み取る。

T：米はどんな地域でたくさんつくられているのでしょうか？

S：統計資料から、新潟県や東北地方、北海道で米づくりが盛んなことが分かります。

S：群馬県の米の生産量と比べると、その量はとても多いです。

S：山形県は、10aあたりの収穫量が一番多いから、効率がよいと思います。

お米の都道府県別収穫量（水稲）

都道府県	作付面積 (ヘクタール)	10aあたりの 収穫量(トン)	収穫量 (トン)
北海道	103,900	560	581,800
秋田	86,900	574	498,800
山形	64,500	598	385,700
茨城	68,100	525	357,500
新潟	116,300	526	611,700

（平成29年 農林水産省）

〈めあて〉庄内平野の米づくりについて資料を基に話し合い、単元の課題を立てよう。

めあての設定

○本単元の社会的事象に関わる資料を提示し、本時の位置付けが「単元の課題」の設定であることを確認させる。

2 一人一人が、本単元の社会的事象に関わる資料を基に、疑問や調べたいことを考える。

○教科書の「空から見た庄内平野」の写真から分かる事実をワークシートに記述する。

S：庄内平野では水田が広がっているけど、家は少ないよ。

○庄内平野の耕地に占める水田の割合や圃場整備が終わっている面積の割合を調べ、それらを日本全体の割合と比較・関連付けて考える。

○資料から考えた疑問や調べたいことをグループで伝え合う。

S：地域の農家は少ないのに、なぜ広い水田を管理できるのかな？

S：カンントリーエレベーターはどんな役割を果たしているのかな？

S：圃場整備は、誰が進めているのかな？

課題意識をもたせる資料

○数字の差に驚きのある資料、既知の知識や生活経験と資料の間にずれのある資料を提示することで、「なぜ」「どうして」「調べたい」という課題意識をもてるようにする。

疑問や調べたいことを考える

○資料を基に疑問や調べたいことを考える時間を確保することで、課題意識を高めて単元の学習に取り組めるようにする。また、ペアやグループで交流させ、多様な考えに触れられるようにする。

3 学級全体で、社会的事象についての疑問や調べたいことを話し合う。

○資料を基に一人一人が考えた疑問や調べたいことについて伝え合う。

T：みなさんが考えた疑問や調べたいことを話し合いましょう。

S：庄内平野では、なぜたくさんのお米をつくれるのかな？

S：川や山が見えるけれど、米づくりに関係あるのかな？

S：庄内平野には家が少なかった。人が少ないのに、なぜたくさんのお米をつくれることができるのだろうか？

S：きっと色々な工夫や努力があるんだと思うよ。

○疑問や調べたいことをキーワード化し、整理する。

【キーワード】 たくさん 工夫 圃場整備 米のゆくえ など

焦点化に向けて

○児童の発言を基に、キーワードを板書したり、分類したりして整理することで、「単元の課題」の言葉を考えられるようにする。

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○キーワードを基に、「単元の課題」を立てる。

T：「単元の課題」を立てましょう。どのようにまとめますか？

S：「なぜ、米がつくられているのだろう」がよいと思います。

S：「たくさん」という言葉も入れたほうがよいと思います。

【単元の課題】 庄内平野では、なぜ米がたくさんつくられているのだろう。

○一人一人が、本時の学習の振り返りをする。

S：庄内平野で米づくりが盛んなことが分かった。どんな工夫をして、たくさんのお米をつくられているのか早く調べたいな。

S：庄内平野は水田が広くて驚いた。こんなに広いのに集落が少なく、どうやって米をつくられているのだろう。

「単元の課題」の型

○児童の発言を基に、キーワードを参考に「単元の課題」を立てさせる。本単元では、米づくりが盛んな理由を明らかにするため、「なぜ～」という課題設定をさせた。

指導例：『米づくりのさかんな地域』（第5学年 第5時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

○農家の共同作業に関わる資料を提示し、疑問や調べたいことを考える。

T：前時で学習した農家の仕事は一人でやっているのでしょうか？

S：家族で協力していると思います。

T：どんな協力をしているのか、具体的にわかりますか？

S：実際にどんな協力をしているかは、よく分かりません。

〈めあて〉 農家の人たちは、よりよい米づくりのためにどのように協力しているのだろう。

めあての設定

○本時に解決したい内容に関わる問いかけをし、予想させることで、課題意識を高めてめあてを考えられるようにする。

2 一人一人が、解決に必要な情報を集め、読み取る。

○教科書の「ヘリコプターによる農薬散布」の写真、「用水路・排水路の仕組」の図、「農家の勉強会」の写真に掲載したワークシートを活用し、それぞれの資料から分かることを記述する。

○それぞれの事実が何のために行われているのか、その意味や目的を考え、ワークシートに記述する。

○一人一人が集め、読み取った情報をペアで共有し、補完・修正する。

S：農家の人たちは、共同で機械を使っているのだな。

S：機械はお金もかかるから、それも負担し合うのだな。

S：圃場整備も地域で進めていたよ。

S：勉強会を開いて、米づくりの工夫を教え合っているのだな。

S：一人でやるよりも、協力した方が効率がよいね。

資料の精選

○教科書や地図帳を基に、課題解決に必要な資料を精選して提示することで、読み取るべき情報を理解しやすくする。

3 学級全体で、整理した情報を基に話し合う。

○一人一人が調べた情報を共有するとともに、気付いたことや考えたことを発表、交流する。

○班ごとに、本時のめあてに関わるキーワードを考える。

T：みなさんが発表し、話し合ったことを基に、「協力して〇〇」の「〇〇」に入る言葉を班の友達と考えましょう。

S：「協力して作業」だと思ふ。

S：「協力して勉強」もいいと思ふよ。

S：僕は、「協力してお金を負担」だと思ふ。

S：私は「協力して土地を整備」だと思ふな。

T：たくさんの協力があつたけど、共通する目的は何でしょうか？

S：作業の効率をよくすることです。

S：お米の味をよくすることです。

S：たくさん買ってもらい、利益を上げるためです。



考えたことを話し合わせる

○2で発表し合った事実を基に、比較や関連付けをさせたり、共通点やキーワードを考えさせることで、調べた事実の意義や共通点に気づき、理解を深められるようにする。

キーワードを基にまとめる

○本時で何度も出てきた言葉や児童が導いたキーワードを確認するよう促し、児童がまとめる言葉を考えられるようにする。

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○本時に解決したことをまとめる。

T：キーワードを基に、まとめの言葉を考えましょう。

農家の人たちは、共同作業をしたり、お金を出し合ったり、よりよい米づくりの仕方を教え合ったりするなど、たくさんの協力をしている。

○一人一人が、本時のめあてを意識した振り返りをする。

S：僕ははじめ、農家の人たちはお金を出し合っていると思ったけれど、ほかにも勉強会や共同作業をしているとは知らなかった。

S：JAや水田農業試験場がどんな仕事をしているか、早く知りたいな。

ふりかえり
私は「どうして、よりよい米づくりを管理できるのだろうか」と疑問に思っていたが、地元の方々全員が協力して取り組んでいるのだから、早く全部が管理できるとかよく分かった。

振り返りの視点を明確にする

○振り返りの視点として、以下の視点を提示し、学びを自覚できるようにする。
(1) 本時で分かったこと
(2) 有効だった資料や調べ方
(3) 自分との関わり

指導例：『米づくりのさかんな地域』（第5学年 第9時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

- 「単元の課題」や学習計画表を振り返る。
- 「追究する」過程の各単位時間で解決してきたことを確認する。
- T：庄内平野の米づくりについて、どのようなことを学習しましたか？
- S：庄内平野は水が豊かで、気温などの自然条件が整っていました。
- S：農家の人たちは、計画的に、地域で協力していました。
- 社会科の学習における本時の位置付けが、単元の結論を導く時間であることを確認する。

〈めあて〉 庄内平野では、なぜ米がたくさんつくられているのか、調べたことを基にまとめよう。

めあての設定

- 「つかむ」過程で児童が考えた疑問や調べたいこと、「追究する」過程で調べてきたことを振り返りよう促し、改めて「単元の課題」を確認させる。

2 一人一人が、学習してきたことを基に「単元の課題」に対する結論を考える。

- 各単位時間に整理したワークシートなどを振り返り、「具体的な事実に関する知識」を基に、自分なりの「単元の課題」に対する結論を考え、記述する。

- T：農家の工夫を伝える4コマまんがにある農家の人の言葉を考えましょう。
- S：庄内平野で米づくりが盛んなのは、米づくりに適した気候だから。
- S：農家同士の協力によって、効率よく作業ができるから。
- S：品種改良によって、丈夫で土地に合った米になっているからだよ。



まとめる活動の設定

- 学習したことを基に、「単元の課題」に対する結論をまとめる活動を設定する。
- 本単元では、農家の工夫に関する4コマまんがを完成させる活動を設定することで、庄内平野で米づくりが盛んな理由を端的に表現できるようにした。

3 学級全体で、「単元の課題」に対する結論を話し合う。

- 2で一人一人が考えた「単元の課題」に対する結論を基に、共通点や相違点を整理する。

- T：どのような結論を書きましたか？
- S：庄内平野で米づくりが盛んなのは、豊富な水や日照条件など、米づくりに適した環境があるからです。
- S：「農家同士の協力」も欠かせないと思います。
- S：品種改良や営農指導など、よりよい米づくりの仕方を研究するなど、地域全体で取り組んでいたことも理由だと思います。



ICTの活用

- 実物投影機やタブレットなどのICTを用いることで、児童がワークシートに表現したものを全体で共有できるようにする。

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

（単元全体のまとめ・振り返りをする。）

- 伝え合った結論を基に、児童の言葉から「単元の課題」に対する結論を導く。

庄内平野で米づくりがさかんなのは、米づくりにかかわる人々が、自然条件を生かして、地域で協力したり、よりよい米づくりの仕方を研究したりするなど、様々な工夫や努力をしているからです。

- 「単元の課題」について調べてきたことを基に、単元全体の振り返りをする。

- S：農家の人々は、たくさんおいしい米を作るために、毎日努力しているんだ。
- S：このような農家の人々の工夫や努力のおかげで、私たちの食生活は豊かで安定したものになっているんだな。

☆「米づくりのさかんな地域—山形県庄内平野—」をふりかえって、分かったことや感想などを書きましょう。

やはりその場所の長所をいかして農業をしているんだなと思った。そして品種改良するには、色々な品種を何種類もかけ合わせておいしい米にすることがわかった。お米をいっしょに食べようと思います。

まとめについて

- 児童の考えを整理したり、共通点を考えさせたりして、「単元の課題」に対する結論を導き、概念的知識として一般化できるようにする。

学びを自覚させる

- 「つかむ」過程で予想したことや「追究する」過程で学習したことを想起させたり、学習する前と学習した後の自分を振り返らせたりするなどして、単元全体の学びを自覚できるようにする。

社会科学学習指導案

平成30年6月～7月 第5学年 指導者 吉山 健太郎

I 単元名 米づくりのさかんな地域—山形県庄内平野—

II 学習指導要領上の位置付け

(2) 我が国の農業や水産業における食料生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けさせることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解すること。

(イ) 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解すること。

(ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

(イ) 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

III 目標

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

ア (知識及び技能)

米づくりに関わる地形図や写真、グラフなどの資料を活用し必要な情報を読み取ったり、まとめたりすることを通して、米づくりに従事する人々が国民の食生活を支えるために、自然環境に適応しながら様々な工夫や努力をしていることを理解している。

イ (思考力、判断力、表現力等)

庄内平野の米づくりについて、米づくりが盛んなことを自然環境や社会的な条件と人々の工夫や努力とを関連させて考え、適切に表現している。

ウ (学びに向かう力、人間性等)

我が国の米づくりの様子に関心をもち、問題や予想、学習計画を考え、意欲的に調べている。

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開（1／9）

- ねらい 統計資料や写真から読み取ったことを基に、庄内平野における米づくりの特色を考え、単元の課題を立てる活動を通して、庄内平野で米づくりが盛んな理由を追究する意欲をもてるようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。（10分） ○米の生産量上位5県と群馬県を生産量を示す統計資料、主な米の生産県の10a当たりの収穫量を示す資料を提示し、気付いたことを話し合う。 ○社会科の学習における本時の位置付けが、単元の課題の設定であることを確認させる。 めあて 庄内平野の米づくりについての資料を基に話し合い、単元の課題を立てよう。			
2 一人一人が、本単元の社会的事象に関わる資料を基に、疑問や調べたいことを考える。（10分） ○空から見た庄内平野の写真を見て、気付いたことをワークシートに記述するよう促し、庄内平野では米づくりが盛んに行われていることを捉えさせる。 ○庄内平野の耕地に占める水田の割合や圃場整備が終わっている面積の割合を調べ、それらを日本全体の割合と比較・関連付けて考えさせる。 ○庄内平野の米づくりについて疑問や調べたいことをワークシートに記述するよう促す。			
3 学級全体で、社会的事象についての疑問や調べたいことの共有や焦点化を図る。（15分） ○資料を基に、一人一人が考えた疑問や調べたいことを発表させて板書し、共通点や相違点を整理させる。 ○児童の発言内容に関連する資料を確認させ、児童の考えの根拠を明らかにし、課題の焦点化を図る。 資料の比較を基に、気付いたことや疑問点を記述したり、発表したりしている。＜記述・発言(1)＞			
4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（10分） ○庄内平野の米づくりについて、共通して解決すべきことを問いかける。 ○児童の言葉を基に、「単元の課題」を文としてまとめ、板書する。 【単元の課題】 庄内平野では、なぜ米がたくさんつくられているのだろう。 ☆ 庄内平野では、なんでこんなに米がつくられているのかな。調べてみたいな。			

V 本時の展開（5／9）

- ねらい 用水路・排水路の写真や映像資料、農薬散布や農家の勉強会の写真から調べたことを基に、農家同士の協力内容やその意味について話し合う活動を通して、農家の人々がよりよい米づくりのために共同作業を行っていることを理解できるようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子どもの意識
1 本時のめあてをつかむ。（5分）	○前時まで解決してきたことを確認するよう促す。 ○前時の資料（農家の1年間の仕事の流れ）を提示し、一農家で全ての仕事ができるのか問いかけたり、単元の課題に対する予想のうち、農家の人たちの協力に関する部分を想起させたりして、本時で解決したい課題を考えさせる。		
	めあて 農家の人たちは、よりよい米づくりのためにどのように協力をしているのだろう。		
2 一人一人が、解決に必要な情報を集め、読み取る。（15分）	○機械を用いた農薬散布の写真、用水路・排水路の図や映像資料、地域の農家の研修会の写真を基に、解決に必要な情報を集め、ワークシートに記述するよう促す。 ○一人一人が集め、読み取った情報をペアで発表させて、補完・修正させる。		
3 学級全体で、整理した情報を基に考察する。（15分）	○調べたことを基に班で話し合うよう促し、「協力して○○○」と記入させる。「○○○」には、本時のめあてに関わるキーワードを入れるように指示する。 ○班ごとにまとめたキーワードを発表し合い、その意味について問いかけたり確認したりして、農家の人たちが協力して効率よく米をつくる工夫をしていることを理解させる。		
4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（10分）	○考察したキーワードを基に、本時のめあてについての結論をまとめ、板書する 農家は、共同作業や土地の整備、お金を出し合うなどの協力をして、おいしい米をたくさん効率よくつくっていることを理解している。＜記述・発言(4)＞ ○一人一人に、農家の協力について分かったことや新たな疑問などを意識した振り返りをするよう促す。 ☆農家の人たちは、お金を出し合って機械を買ったり、用水路や排水路を共同で使ったりするなど協力して、効率よく、たくさん米をつくれるようにしているんだね。		

V 本時の展開（9／9）

1 ねらい 単元の課題の解決に向けて調べて得た内容を基に、自分の考えをまとめ、全体で共有する活動を通して、米づくりに携わる人々の工夫や努力を理解できるようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。（5分）	○「つかむ」過程で考えた疑問や予想を想起するよう促し、単元の課題を確認する。 ○「追究する」過程の各単位時間で解決してきたことを振り返らせる。 ○社会科の学習における本時の位置付けが、単元の結論を導く時間であることを確認させる。		
	めあて 庄内平野では、なぜ米がたくさんつくられているのか、調べたことを基にまとめよう。		
2 一人一人が、学習してきたことを基に「単元の課題」に対する結論を考える。（15分）	○「追究する」過程でのワークシートやノート、資料を基に、各単位時間に習得してきた米づくりに携わる人々の工夫や努力に関する知識を想起させ、まとめるよう促す。 ○「米づくり農家の人の工夫や努力を解説する4コマ漫画」で空欄になっている農家の言葉にはどのような言葉が入るか、学習してきたことを基に考えるよう指示する。		
3 学級全体で、「単元の課題」に対する結論を話し合う。（20分）	○4コマ漫画にまとめたことを基に、根拠を明確にしなが、一人一人が考えた結論を伝え合うように促す。 ○共通点やキーワードを整理して、「単元の課題」に対する結論をまとめさせる。		
4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（5分）	○単元の課題の結論を基に、「分かったこと」、「有効だった資料や調べ方」、「自分との関わり」などの視点で、単元全体の振り返りを記述するよう促す。		
	米づくりに携わる人々の工夫や努力などについて調べて得た事実を基に、思考・判断したことを適切に表現している。＜記述・発言（2）＞		
	○単元の課題を協同的に解決できたことや、多角的に考えられたこと、自分と社会との関わりについて考えられたことなどを称賛することで、社会科の学習意欲や社会参画意識の向上を図る。		
	☆ 自然環境が米づくりに適していることや、農家の人たちの工夫や努力、それを支える人たちの協力があり、米づくりが盛んなことが分かった。だから庄内平野の米が全国に出荷されて、たくさん食べられているんだね。		

目標	<p>社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>ア（知識及び技能） 米づくりに関わる地形図や写真、グラフなどの資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりすることを通して、米づくりに従事する人々が国民の食生活を支えるために、自然環境に適応しながら様々な工夫や努力をしていることを理解している。</p> <p>イ（思考力、判断力、表現力等） 庄内平野の米づくりについて、米づくりが盛んなことを自然環境や社会的な条件と人々の工夫や努力とを関連させて考え、適切に表現している。</p> <p>ウ（学びに向かう力、人間性等） 我が国の米づくりの様子に関心を持ち、問題や予想、学習計画を考え、意欲的に調べている。</p>			
評価規準	<p>(1) 我が国の食料生産が、自然条件を生かして営まれていることや、その生産に携わる人々の工夫や努力に関心を持ち、その利点や課題について考えたり調べたりしている。</p> <p>(2) 食料生産に従事する人々の工夫や努力などについて、調べて得た事実をもとに思考・判断したことを適切に表現している。</p> <p>(3) 我が国の食料生産について、地図やグラフ等の資料から、自然・人の努力など多面的な視点を持ち、必要な情報を読み取っている。</p> <p>(4) 我が国の食料生産は自然条件を生かしながら、人々の工夫や努力により安定して供給されていることを理解している。</p>			
過程	時間	○ねらい めあて	☆振り返り（意識）	◇評価項目 〈方法（観点）〉
つかむ	1	<p>○統計資料や写真から読み取ったことを基に、庄内平野における米づくりの特色を考え、単元の課題を立てる活動を通して、庄内平野で米づくりが盛んな理由を追究する意欲をもてるようにする。</p> <p>庄内平野の米づくりについての資料を基に話し合い、単元の課題を立てよう。</p> <p>【単元の課題】 庄内平野では、なぜ米がたくさんつくられているのだろう。</p>	☆庄内平野では、なんでこんなに米がつくられているのかな。調べてみたいな。	◇資料の比較を基に、気付いたことや疑問点を記述したり、発表したりしている。 〈記述・発言(1)〉
	1	<p>○単元の課題について予想したことを基に、自分の考えを伝え合い学習計画を立てる活動を通して、単元の課題を解決する意欲をもてるようにする。</p> <p>単元の課題を解決するためには何を調べていけばよいか考えよう。</p>	☆庄内平野で米づくりが盛んな理由は、気候や地形が米づくりに適していたり、農家の人が工夫をしたりしているからだと思うよ。確かめてみよう。	◇単元の課題について予想し、どのようなことを調査すればよいか考え、記述したり、発言したりしている。 〈記述・発言(1)〉
追究する	1	<p>○庄内平野の地形や気候、土地利用について調べたことを基に、自分の考えを伝え合う活動を通して、庄内平野では自然条件を生かして米づくりが営まれていることを理解できるようにする。</p> <p>庄内平野の地形や気候などの特色を調べ、気付いたことを伝え合おう。</p>	☆川が近く、雪解け水も豊富で、季節風や日照時間なども米づくりに適しているね。	◇地図やグラフなどの資料を活用し、庄内平野の気候が米づくりに適していることを理解している。 〈記述・発言(4)〉
	1	<p>○米づくり農家の仕事の図を基に、米づくりの流れを調べる活動を通して、米づくり農家の工夫や努力を読み取ることができるようになる。</p> <p>米づくりの流れを調べ、農家の人の工夫や努力を明らかにしよう。</p>	☆米を育てるために、一年を通して様々な仕事をしているんだね。	◇米づくり農家の工夫や努力について、資料から適切に読み取っている。 〈記述・発言(3)〉
	1	<p>○用水路・排水路の写真や映像資料、農薬散布や農家の勉強会の写真から調べたことを基に、農家同士の協力内容やその意味について話し合う活動を通して、農家の人々がよりよい米づくりのために共同作業を行っていることを理解できるようにする。</p> <p>農家の人たちは、よりよい米づくりのためにどのように協力をしているのだろう。</p>	☆農家の人たちは、お金を出し合って機械を買ったり、用水路や排水路を共同で使ったりするなど協力して、効率よく、たくさん米をつくれるようにしているんだね。	◇農家は、共同作業や土地の整備、お金を出し合うなどの協力をして、おいしい米をたくさん効率よくつくっていることを理解している。 〈記述・発言(4)〉

	1	○ J A や農業試験場に関する資料から読み取ったことを基に、自分の考えを伝え合う活動を通して、農家を支える人たちの取組を理解することができるようにする。 農家を支える人たちの取組を調べ、どのようなことをしているか明らかにしよう。	☆ J A が営農指導をしたり、農業試験場が品種改良を研究したりして農家の人々を支えているんだね。	◇ J A や農業試験場などが農家を支える取組をしていることを理解している。 〈記述・発言(4)〉
	1	○米がどのように消費者に届けられるか調べ、生産地から消費地までのつながりを図に表す 活動を通して、庄内平野の米が全国に供給されていることを理解できるようにする。 庄内平野の米は、どのように私たちに届けられているのか図に表そう。	☆カントリーエレベーターに 米を集め、鉄道や高速道路 を使い全国に届けているんだね。	◇鉄道やトラックを使って米を輸送し、全国に庄内平野の米が供給されていることを理解している。 〈記述・発言(4)〉
	1	○米の生産量や庄内地方の農家数の変化などを示したグラフから読み取ったことを基に、自分の考えを伝え合う活動を通して、農家が抱えている課題を理解できるようにする。 農家の抱える課題を明らかにしよう。	☆農家には、高齢化や兼業化、自給化によって農業に取り組む人が減るなどの課題があるんだね。	◇高齢化や農業人口の減少など、農家の抱える課題について理解している。 〈記述・発言(4)〉
まとめる	1	○単元の課題の解決に向けて調べて得た内容を 基に、自分の考えをまとめ、全体で共有する 活動を通して、米づくりに携わる人々の工夫や努力を理解できるようにする。 庄内平野では、なぜ米がたくさんつくられているのか、調べたことを基にまとめよう。	☆自然環境が米づくりに適していることや、農家の人たちの工夫や努力、それを支える人たちの協力があり、米づくりが盛んなことが 分かった。だから庄内平野の米が全国に出荷されて、たくさん食べられているんだね。	◇米づくりに携わる人々の工夫や努力などについて調べて得た事実を基に、思考・判断したことを適切に表現している。 〈記述・発言(2)〉